

総務文教

十月二十四日から二十六日までの日程で、山口県宇部市の「野外芸術とまちづくり」についてと下関市の「外部監査」について、実施状況と効果について調査視察をした。

宇部市の野外芸術は、二年に一度開催の彫刻展入賞作品五点程度を購入する方法で作品を増やし、公園・街路・公共施設等に約二百三十点の彫刻が設置されていた。

芸術都市づくりへの市民

観光経済

十一月六日から八日までの日程で、福岡県北九州市の「北九州フィルムコミッション」及び前原市の「グリーンツーリズム」の状況について視察した。

北九州フィルムコミッションは、平成十二年に設立され、これまで数々の映画やTVドラマのロケ誘致を行い、全国的に見ても有数の実績を誇る団体である。

長年培ってきた業界とのパイプを活用して情報収集

の意識も向上し、彫刻の寄贈や資金協力もあり、市民の財産として彫刻を見直す活動が行われている文化豊かな市であった。

下関市の外部監査は、中核市となり包括外部監査として行われていた。平成十七年に実施された「市税の滞納について」を調査した。

監査は納税課にとって仕事の後押しをしてくれるものであったと現場の職員の声でした。指摘を受け事務改善し、収納率が二・二%アップした。また、職員に長期の専門研修をさせ、即戦力としているなど、積極

を行う傍ら、年に数回、約五十社の製作会社を訪問してPRを行っている。

市民には、市政だよりやHP等を活用してロケ情報を積極的に発信している。

北九州市では、フィルムコミッションの活動により、都市のイメージアップが図られ、それに伴い、市民の地元に対する愛着心が向上し、また、ロケ班の滞在による経済効果等様々な恩恵があったとのことである。

当市においても昨年「十和田フィルムコミッション」が設立され、映画等の支援

の意識も向上し、彫刻の寄贈や資金協力もあり、市民の財産として彫刻を見直す活動が行われている文化豊かな市であった。

的な取り組みがみられた。自治体が条例を制定すれば外部監査を行うことができるので、委員会として勉強していこうという委員全員の意見でした。



下関市での総務文教委員

常任委員会視察報告

を行っているが、今後、十和田市を積極的にPRする取り組みの一つとして参考になる活動であると考えている。



前原市での観光経済委員

民生福祉

十一月六日から九日までの日程で、宮崎県小林市の「廃棄物焼却溶融施設と環境保全に関する協定締結」、日南市の「公立保育所民営化の取り組み」、宮崎市の「子育て支援パスポート事業の取り組み等」について、調査視察した。

小林市は民間企業が建設した廃棄物焼却溶融施設稼働にあたり、県知事立会いで協定書を取り交わし、環

境保全に努めている。施設建設に際して、住民の強い反対運動があり、住民投票も行われ、反対票が五九%を占める状況だった。環境保全のためには、市、県による立ち入り調査を含む厳しい監視体制の確立が重要とのことであった。

日南市は、公立保育所の民営化に取り組み、今年度から一施設を民営化した。民営化をスムーズに進めるためには、引き継ぎ期間を長く設け、園児や保護者の不安を取り除くことなどが大事とのことであった。

宮崎市は、地域の企業や

建設

十月十八日から二十日までの日程で、栃木県栃木市の「道普請事業原材料支給制度」と静岡県三島市の「街中がせせらぎ事業」について調査視察をした。

栃木市の道普請原材料支給制度とは、地域内の生活に密着している道路について、地域の要望に対応する手法として、市が測量、設計及び資材の提供等を行い

工事に必要な労力等（工事費）を地域が負担する制度である。この制度により、早期整備が可能となり、また、地域の道路としての愛着や地域のきずなが強くなるものと感じられた。

三島市の街中がせせらぎ事業は、中心市街地にある歴史、自然というアメニティ資源を活用し、回遊ルートを整備することにより、歩きたい街、住みたい街を目指すものであり、市民・企業・まちづくり団体・行政が役割分担し、市民ボランティア案内人など様々な

ハード・ソフト事業に取り組んでいた。市民の要望に応える道路整備、市民とともに進める環境・景観整備など、今回の調査視察を今後の市政に反映させていきたい。



三島市での建設委員



宮崎市での民生福祉委員